

# 決算

令和2年度の一般会計について、皆さんから納めていただいた税金や、国・県からの補助金などがどのように使われたのか、解説します。

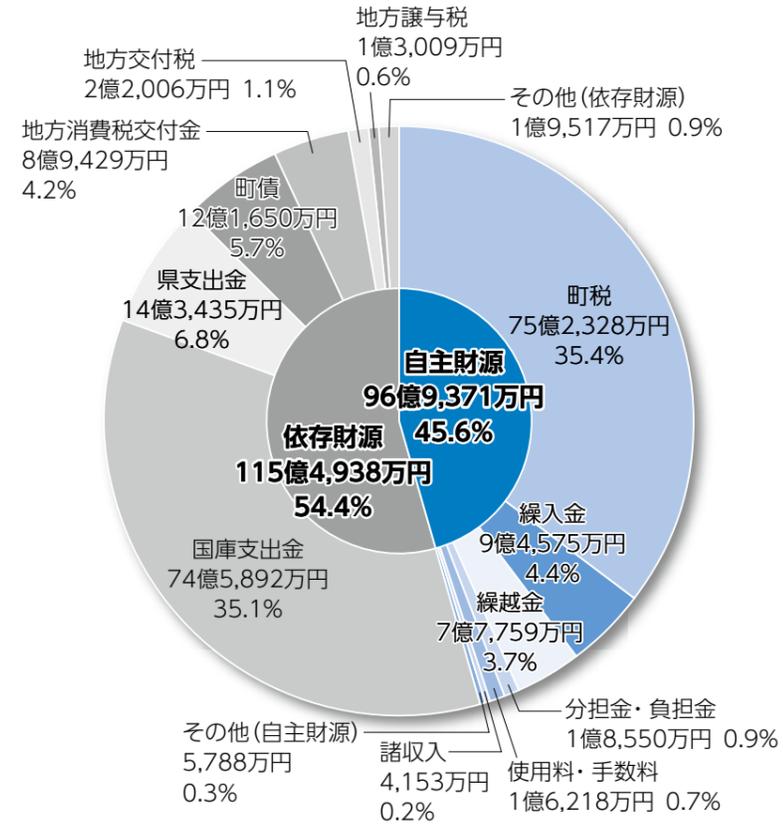
※各項目の金額などは、四捨五入により、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

財政課 財政係 ☎(232)2130

## 一般会計 歳入

# 212億4,309万円

(前年度比51億9,921万円増)



その他の内訳		その他の(依存財源)の内訳		その他の(自主財源)の内訳		町税の内訳	
災害復旧費	1,115万円	法人事業税交付金	7,351万円	寄附金	3,988万円	固定資産税	39億7,277万円
労働費	298万円	地方特例交付金	5,720万円	財産収入	1,800万円	うち土地	8億4,645万円
		配当割交付金	1,595万円			うち家屋	16億825万円
		株式等譲渡所得割交付金	1,569万円			うち償却資産	14億7,543万円
		ゴルフ場利用税交付金	998万円			うち交付金	4,264万円
		交通安全対策特別交付金	817万円			個人町民税	23億6,509万円
		環境性能割交付金	750万円			法人町民税	7億3,651万円
		利子割交付金	369万円			町たばこ税	3億1,400万円
		国有提供施設等所在市町村助成交付金	348万円			軽自動車税	1億3,491万円

### 一般会計の決算の状況

令和2年度一般会計の決算額は、歳入が212億4,309万円、歳出が205億4,039万円、歳入から歳出を差し引くと7億9,700万円の黒字となりました。このうち2億9,006万円は令和3年度に繰り越して行う事業費に充てるため、実際には4億1,264万円の黒字です。

また、前年度末に比べ、町の貯金である基金は2億4,189万円減少して47億3,716万円に、町の借金である町債は7億1,516万円減少して16億0,505万円になりました。

### 歳入

歳入は、町税や使用料など町独自で確保する「自主財源」と、地方交付税や国庫支出金など国や県の基準に基づき交付される「依存財源」に分けられます。

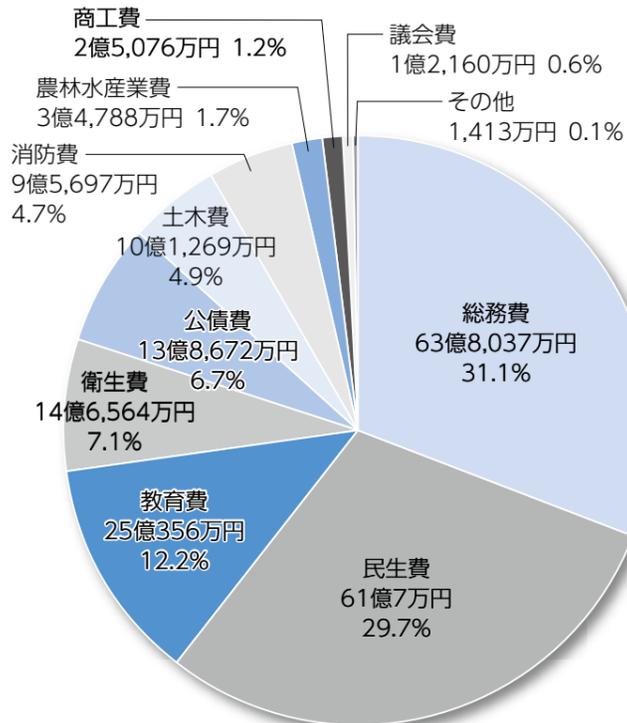
本町は、歳入全体の45.6%(前年度62.4%)にあたる約96億9,371万円(同100億1,693万円)を「自主財源」で確保しており、他市町村に比べ、自主財源の占める割合が高い傾向にあります。

しかし、前年度に比べ新型コロナウイルス関連の国・県支出金が大幅に増加した影響で、依存財源が115億4,938万円(同60億2,695万円)となり、依存財源が占める割合が54.4%(同37.6%)と大きくなりました。

# 205億4,039万円

(前年度比52億7,410万円増)

## 一般会計 歳出



その他の内訳	
災害復旧費	1,115万円
労働費	298万円

### 歳出

歳出は、「総務費」が新型コロナウイルス緊急経済対策に伴う特別定額給付金事業の実施で、前年度から約45億円増の63億8,037万円となり、主に社会保障等に使われる「民生費」より高くなりました。

また、「教育費」が小中学校施設の整備やGIGAスクール構想に基づく児童・生徒へのタブレット配布で、前年度から約7億円増の25億3,564万円となりました。

歳出総額を、令和3年3月31日現在の人口4万2,899人で割ると、町民一人当たり47万8,807円が使われた計算になります。次のページで、令和2年度の主な事業内容を紹介いたします。

### 町の貯金と借金(一般会計)

**貯金**  
(基金残高) 令和2年度末  
**47億3,716万円**

町民一人当たり  
**11万4,266円**

**借金**  
(町債残高) 令和2年度末  
**160億6,605万円**

町民一人当たり  
**37万4,509円**

令和2年度町民一人当たり  
に換算した歳入  
**49万5,188円**

※歳入を令和3年3月31日現在の人口で割ったもの

令和2年度一般会計で町民一人当たり  
に使われたお金(歳出) **47万8,807円**

<b>総務費</b> 148,730円	<b>民生費</b> 142,196円	<b>教育費</b> 58,359円
<b>衛生費</b> 34,165円	<b>公債費</b> 32,325円	<b>土木費</b> 23,606円
<b>消防費</b> 22,307円	<b>農林水産業費</b> 8,109円	<b>商工費</b> 5,845円
<b>議会費</b> 2,835円	<b>その他</b> 330円	

※人口については、令和3年3月31日現在の人口(42,899人)で計算しています。

# 令和2年度の主な事業内容

**総務費 63億8037万円**

新型コロナウイルス緊急経済対策に伴う特別定額給付金事業に42億6000万円支出しました。また、各地区の放送施設などの整備、交通安全対策や防犯灯の設置、町内巡回バスの運行や電算システムの運用、土地取得特別会計への繰入金などに58億3014万円支出しました。

このほか、財政調整基金に5億5023万円積み立てました。

**民生費 61億7万円**

社会福祉協議会・シルバー人材センターへの運営費助成、重度心身障害者医療費助成、児童福祉、児童手当、ひとり親家庭・寡婦対策、保育所(私立を含む)の運営などに50億9801万円支出しました。

また、国民健康保険特別会計へ2億4849万円、介護保険特別会計に3億5161万円繰り出し、後期高齢者医療の負担金などに4億196万円支出しました。

**教育費 25億356万円**

GIGAスクール構想に基づく、児童・生徒へのタブレット配布に2億7277万円支出しました。また、武蔵ヶ丘中学校給食室の増築・改修工事に1億8358万円、菊陽中学

校体育館の空調整備工事に1億2060万円、各小中学校の運営費、幼児教育などに11億2582万円、図書館や生涯学習施設の運営、青少年育成や文化振興のほか人権教育・啓発の推進などに2億3798万円、社会体育に4億2871万円、総合スポーツ施設の整備に4億687万円支出しました。

**衛生費 14億6564万円**

子ども医療費助成、予防接種、健康相談、集団検診、清掃費などに8億8088万円支出しました。

また、ごみ処理の負担金として菊池環境保全組合に5億5,323万円、し尿処理の負担金として菊池広域連合に2433万円支出しました。

**土木費 10億1269万円**

道路新設改良事業、町道・公園・町営住宅の維持管理などに6億1943万円、土地区画整理事業に1億3408万円支出し、公共下水道事業分として2億5918万円繰り出しました。

**消防費 9億5697万円**

(仮称)防災センター整備事業に3億8015万円支出しました。また、菊池広域連合への負担金として4億4938万円支出し、消防

団活動、各地区消防施設の整備などに1億2744万円支出しました。

**農林水産業費 3億4788万円**

農業の振興、農道や水路などの整備、町有林の管理などに2億6916万円、菊陽町総合交流ターミナル施設さんふれあ関係に5283万円を支出しました。

また、農業集落排水事業分として2589万円繰り出しました。

**商工費 2億5076万円**

商工・観光振興などに1億3913万円支出しました。また、企業誘致費として1億163万円を支出しました。

## 平成28年熊本地震からの復旧・復興事業費 総額 4億6,010万円

- 主な事業(抜粋)
- ・災害復興基金事業 菊陽南小放課後児童クラブ建設事業 2,909万円
  - 被災宅地復旧支援事業 1,793万円
  - ・災害復興関連事業 (仮称)防災センター整備事業 3億8,015万円
  - 光の森防災広場管理費 1,299万円

## 新型コロナウイルス感染症対策事業費 総額 47億3,884万円

- 主な事業(抜粋)
- ・特別定額給付金事業\* 42億6,000万円
  - ・地方創生臨時交付金事業 GIGAスクール構想への支援事業(タブレット整備) 2億7,277万円
  - 飲食店・小売店感染防止対策補助金 4,556万円
  - ・ワクチン接種体制確保事業 883万円
  - ・子育て世帯への臨時特別給付金事業 7,182万円
  - ・さんふれあへの支援金 4,000万円
- \*緊急経済対策の一環として、1人当たり10万円を給付する事業

## 特別会計

一般会計のほか、5つの特別会計の決算は、次のとおりです。

土地取得特別会計	歳入	7,444万円	介護保険特別会計	歳入	27億919万円
	歳出	7,379万円		歳出	25億8,354万円
工業団地造成事業特別会計	歳入	3億5,920万円	後期高齢者医療特別会計	歳入	4億2,178万円
	歳出	1億3,713万円		歳出	4億1,028万円
国民健康保険特別会計	歳入	36億3,232万円			
	歳出	36億1,148万円			

## 町の財政は健全な状態

令和2年度決算に基づく「健全化判断比率」と「資金不足比率」を算定しました。

これは、これらの比率から地方公共団体の財政状況悪化の様子をとらえ、早いうちから健全化を図ることを目的としたものです。

### 【健全化判断比率】

健全化判断比率には、①④の4つの指標があります。これらは、主に地方公共団体の標準的な状態で収入されると見込まれる財源である

健全化判断比率(町)		早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	黒字のためなし	13.50%	20.00%
②連結実質赤字比率	黒字のためなし	18.50%	30.00%
③実質公債費比率	6.3%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	10.5%	350.0%	

※4つの指標のうち、いずれかが早期健全化基準以上の場合は「早期健全化団体」とされ、財政健全化計画を、3つの指標のうち、いずれかが財政再生基準以上の場合は「財政再生団体」とされ、財政再生計画を定めなければなりません。  
※「-」の表示は、赤字額がないため「数値なし」となったものです。

## 健全化判断比率・資金不足比率

「標準財政規模(令和2年度は約91億円)」に対する比率です。

いずれの指標も、早期健全化基準を下回っており、本町の財政は比較的健全な状況にあるといえます。

### ①実質赤字比率

一般会計等(下記対象範囲参照)の実質赤字の比率をいいます。当年度は約4億円の黒字となりました。実質赤字比率はありません。

### ②連結実質赤字比率

一般会計等に加え、公営事業会計及び公営企業会計(下記対象範囲参照)を連結した実質赤字の比率です。当年度はいずれの特別会計も実質赤字であり、連結で約8億円の黒字となりました。連結実質赤字比率はありません。

### ③実質公債費比率

一般会計等の公債費に、一般会計が実質的に負担した、他会計の公債費などを加えた比率をいいます。当年度は6.3%となりました。

### ④将来負担比率

地方債残高や将来支払う可能性のあるその他の負担の比率をいいます。当年度は10.5%となりました。

## 【健全化判断比率・資金不足比率の対象範囲】

会計等の名称	健全化判断比率	
	実質赤字比率	資金不足比率
一般会計等	一般会計	
	土地取得特別会計	
公営事業会計	国民健康保険特別会計	
	介護保険特別会計	
	後期高齢者医療特別会計	
公営企業会計	下水道事業会計	
	工業団地造成事業特別会計	
一部事務組合・広域連合	菊池広域連合	
	菊池環境保全組合	
	大津菊陽水道企業団	
	熊本県市町村総合事務組合	
	熊本県後期高齢者医療広域連合	

## 【資金不足比率】

公営企業の資金不足を料金収入などの規模と比較したものです。下水道事業会計及び工業団地造成事業特別会計は実質黒字となったため、資金不足比率はありません。

資金不足比率(町)		経営健全化基準
①下水道事業会計	黒字のためなし	20.00%
②工業団地造成事業特別会計	黒字のためなし	20.00%

※資金不足比率が経営健全化基準以上の場合は「経営健全化団体」とされ、経営健全化計画を定めなければなりません。  
※「-」の表示は、赤字額がないため「数値なし」となったものです。

## 令和2年度 決算審査

町監査委員からは、決算などの審査の結果、「審査に付された各指標と算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されている。各指標を見る限り、数値に多少の増減はあるものの、過去の数値推移から問題はなく、町の財政運営はおおむね適正に行われていると認識している。今後の財政運営も慎重にお願いしたい」との意見がありました。

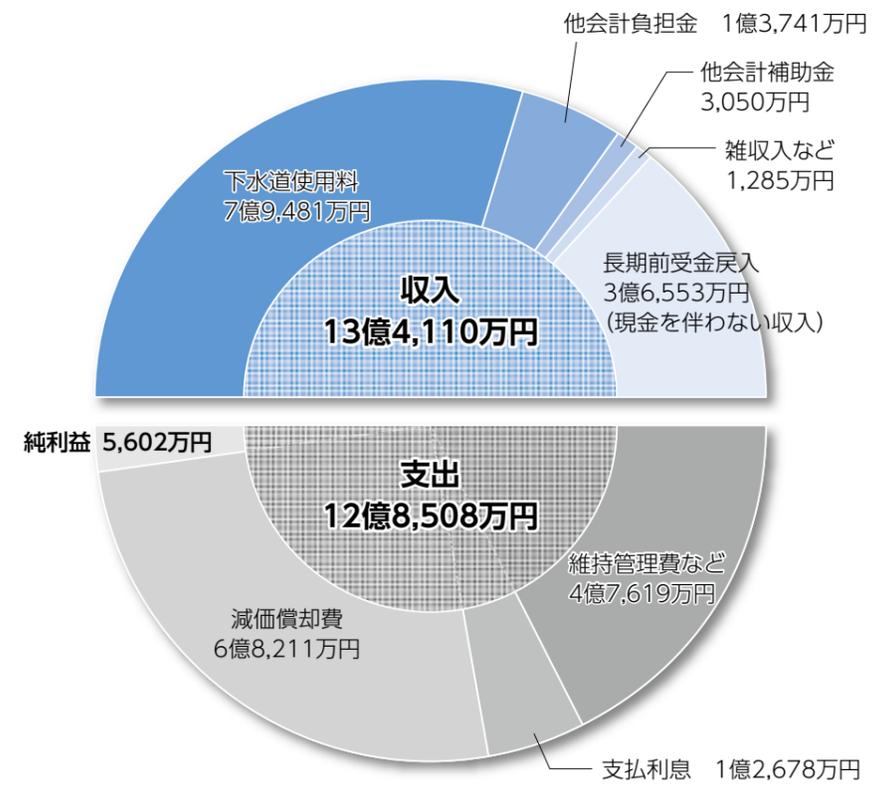
# 決算

令和2年度下水道事業会計の決算の状況をお知らせします。下水道事業会計では、公共下水道事業と農業集落排水事業の二つの事業を実施しています。

下水道課 業務係 ☎(232)2164

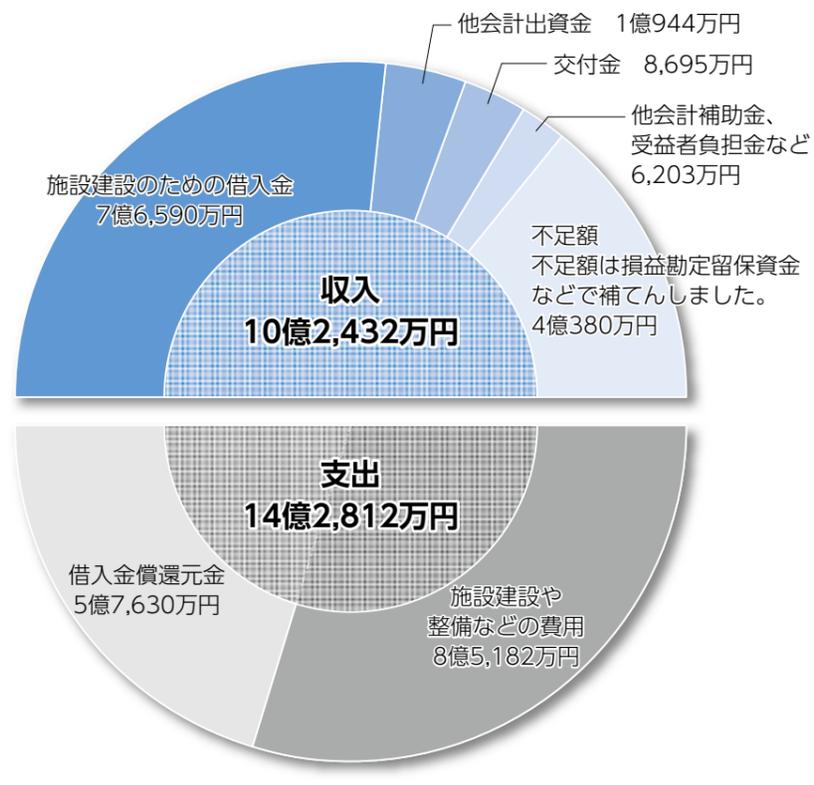
## 収益的収支

下水道を維持管理するための経費とその財源



## 資本的収支

下水道施設を整備・拡充するための経費とその財源



## 用語説明

### ○収益的収支

#### 他会計負担金

雨水処理に係る費用に充てるために一般会計から繰り入れたお金

#### 他会計補助金

事業運営のために一般会計から繰り入れたお金

#### 長期前受金戻入

施設建設のための過年度の収入を、後年度に均等に収益として整理するもの

#### 維持管理費

汚水管、雨水管などの補修、清掃に必要な経費

#### 支払利息

下水道施設建設借入金の利子

### ○資本的収支

#### 他会計出資金

借入金償還元金に充てるため一般会計から繰り入れたお金

#### 他会計補助金

汚水対策整備事業費に対して一般会計から繰り入れたお金

#### 受益者負担金

下水道を整備することで利益を得る受益者からの負担金

#### 交付金

施設建設や整備に対する国からの補助金

#### 損益勘定留保資金

収益的支出のうち減価償却費などは現金支出を伴わないため、内部に蓄えられたお金

## 事業概況(令和2年度末)

項目	公共下水道事業	農業集落排水事業
水洗化人口	41,407人	696人
水洗化世帯数	17,591世帯	271世帯
水洗化率	98.5%	96.1%
年間有収水量	7,282,653m <sup>3</sup>	78,205m <sup>3</sup>
使用料回収率	107.0%	70.1%
一般家庭使用料(全国平均)	2,020円(2,842円)	2,020円(3,268円)

### 水洗化率

下水道を利用することができる人口のうち、実際に下水道への接続工事を行い利用している人口の割合で、整備された下水道の利用状況を示す

### 年間有収水量

下水道使用料の徴収対象となった水量

### 使用料回収率

汚水処理に必要な費用を使用料で回収できている割合

### 一般家庭使用料

ひと月に20立方メートル使った場合の下水道使用料

## 工事の概要

- 公共下水道事業
  - ・汚水管の整備では堀川第3汚水枝線の整備や公共汚水柵の設置など計27件の工事を行いました。
  - ・雨水対策では花立地区の雨水管整備など3件の工事を行いました。
  - ・長寿命化対策では、汚水管更生工事など11件の工事を行いました。
- 農業集落排水事業
  - ・曲手地区農業集落排水舗装復旧工事など3件の工事を行いました。

5602万円の純利益となりましたが、使用料だけでは全ての経費を賄えないため、一般会計から収益的収入と資本的収入に合わせ2億8507万円を繰り入れました。

## 経理の状況

今後は、下水道施設の適切な維持や効率的な更新に重点を置き、安定的な事業運営に取り組んでいきます。

菊陽町の下水道の普及率は、公共下水道、農業集落排水合わせて令和2年度末で99・7%になり、県内でも高い普及率となっています。

しかし、敷設から40年以上が経過し、経年劣化している汚水管もあります。



汚水管整備の状況



雨水管整備の状況

